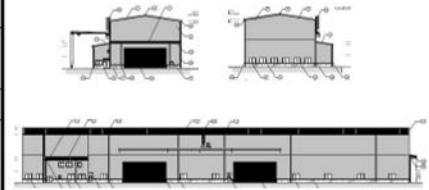


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速読版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5))

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)吉田鋼業株式会社 三木鉄鋼センター	階数	地上2F	
建設地	兵庫県三木市志染町戸田字中尾1838番264	構造	S造	
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	3人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,912 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2025年11月26日	
敷地面積	9,525 m ²	作成者	谷川昌史	
建築面積	2,250 m ²	確認日	2025年11月26日	
延床面積	2,288 m ²	確認者	谷川昌史	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.1 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.7	Q のスコア= 3.0
LR 環境負荷低減性			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.4	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3	LR のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	出来る限り既存の地形をそのまま利用し、敷地周囲の樹木などもそのまま保存している。	
その他	-	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
評価対象外	補修必要箇所の長い外壁材、仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	緑地を設けることにより良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	自動水栓などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。発泡断熱材は使用しないなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。	燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。適切な量の駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両・荷捌き車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される